

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
風の温度に秋を感じる今日このごろ。いかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1. 奈良県農民連 奈良県食と農の振興部との意見交換会
 2. 枝元なほみさん講演会のご案内
-

■ | ■ 奈良県農民連 奈良県食と農の振興部との意見交換会

8月24日（水）、奈良県農民連の年に一度の奈良県食と農の振興部との意見交換会が行われ、奈良県の農業生産と農家の経営を守るために、以下の9項目について要望を伝えました。

1. 肥料・資材などの高騰が続く中、農業が続けられる支援を求めます

肥料や飼料・資材が高騰する一方、米の買取価格はさらなる値下がりが見られ、農家の経営が危惧されています。自然のダムとして遊水地機能の役割も果たす水田と米づくりを守るための支援を強く求めます。

2. 自然災害やコロナ禍で苦境にたつ農家への支援を求めます

自然災害やコロナ禍に加え、消費税の免税事業者が圧倒的多数である県下の農家にインボイス制度導入で新たな負担がかけられようとしています。一人でも多くの農家が農業を続けていけるよう支援を求めます。

3. 農業の担い手づくりに県独自の支援策の拡充を求めます

奈良県では農家の高齢化が進み担い手確保が待たない状況です。専業農家だけでなく兼業農家や自給的農家などすべてを担い手とする効果的な支援策を求めます。

4. 鳥獣害対策の強化を求めます

中山間地域だけでなく、近年は奈良県全域で農作物の鳥獣被害が深刻です。県として支援強化を求めます。

5. 地産地消の推進へ支援策の拡充を求めます

直売所支援、学校給食への地場産農畜産物の活用や県産小麦のパン導入、学生やひとり親家庭への食料支援など、支援策の拡充を求めます。

6. 奈良県でもアグロエコロジーで持続可能な農業をめざし「奈良県豊かな食と農の振興計画」の見直しを求めます

農林水産省「みどりの食料システム戦略」や気候変動の動向などをふまえた県の「奈良県豊かな食と農の振興計画」の見直しと、具体的な方針及び実現可能な戦略の作成を求めます。

7. 都市農地の保全と活用のための計画づくりを求めます

急務となっている市町村での「都市農業振興計画」策定に当たり、県として地域農業の実態や県民の意向をふまえた市町村への提言を行うよう求めます。

8. 原木椎茸生産農家への支援を求めます

奈良県内での原木椎茸農家は原木の高騰により経営の困難に直面しています。県内産の椎茸原木が安価に購入できるよう調査と支援を求めます。

9. 農家の苦難に寄り添った県の農政の改革を求めます

県下の農家や農村の現状に真摯に向き合い、県の食と農に責任を負う体制を創るために関係機関とともに積極的な議論と施策の充実をお願いします。

■ 2 ■ 枝元なほみさん講演会のご案内

10月1日(土) 農民連直売所みのりの里しらにわ1周年記念イベントとして、枝元なほみさん講演会「これからの食と農の未来について」を開催します。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

日時：2022年10月1日(土)13:30～

場所：生駒北コミュニティセンターISTA はばたき大ホール（生駒市上町1543）

講師：枝元なほみさん（料理研究家）

定員：400名（要予約／入場無料）

予約・問合せ：農民連・奈良産直センター

TEL：0744-54-2966 / FAX：0744-54-2967 / メール：minorinosatoevent@gmail.com